

## 写真展開催のお知らせ

2019年2月吉日

拝啓、皆様におかれましては、ますますご健勝の事と存じます。

さて、かねてより準備をすすめてまいりました写真展を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

今回は、単写真の展示による一般的な写真展ではなく、テキスト混じりの組み写真群による「撮影紀行展」なるものを目指してみました。壁面展示には不向きな表現スタイルとは承知しておりますが、よりリアリスティックに、できれば迫体験的になれば、との思いです。

ご多忙な中とは存じますが、是非ご高覧賜りまして、忌憚ない叱咤激励を頂戴し、発展途上の道とさせていただきます幸いです。

私は全日程在館の予定でございますので、ご来場の折りには是非お声かけいただきたく、心よりお待ち申し上げます。

では、会場にて再会できます事を楽しみにしております。

敬具

牧瀬 英喜

- 名称： 撮影紀行展 千年都市ハノイ ベトナム鉄「沿線模様」
- 展示： 写真作品大判 B1, A1, A2サイズ 計60点程、他製本作品等々
- 会場： 福岡県立美術館 3階4号展示室 福岡市中央区天神5-2-1 須崎公園内
- 会期： 2019年4月2日(火)～ 4月7日(日)
- 時間： 10時00分～18時00分(入館は17時半まで)
- 休館： 会期中無休 ●入場： 無料 ●作家在館予定： 全日程
- 福岡県立美術館 092-715-3551 <http://fukuoka-kenbi.jp>
- 牧瀬 英喜 <http://www.photoartplan.com> <http://myfilter.exblog.jp>



## 【Profile】

福岡在住、写真愛好家

歴史の中で逞しく「脈々と息づく人と街」をテーマに  
本業の傍ら海外、地元など人の営み、街風景を撮影  
個展発表を中心に活動 モノクロームとパステル  
トーンの独自の表現世界を追求中

## 【My Style】

永年写真を取組んで約35年、25年程前にはデジタルと出会い  
その可能性を直感し、写真の新たな表現なども模索してきました。

そんな中、巷では極彩色が強く、時には到底現実にはあり得ない  
ような色彩も見受けられる程です。デジタル全盛の中で着地点を見  
失いやり過ぎてしまうと、現実を写し出した作品カットがリアリティー  
を喪失した「作りもの」になってしまいます。やはり自分が表現  
したいものを見据え、その追求への取り組みが必要なのでしょう。

いずれにしろ、どうもこの傾向は私の好みではなく、パステル色  
調や色彩をイメージネーションするモノクロームの世界を求め、そして  
更なる臨場感の表現手法を求め、「撮影紀行」というスタイルに  
たどり着きました。

## 【Camera, etc】(今回使用機材)

FUJIFILM X100S, X-Pro2, X-E1, Fujinon XF50mm f2.0R WR  
Fujinon XF35mm f1.4R, XF14mm f2.8R, XF18-55mm f2.8-4R  
EPSON PX-5800, Adobe Photoshop, LightRoom, iMac 27inc

## 【個展歴】

2007年 7月 九州日仏学館 「巴里散策」モノクロフォト展  
2007年 10月 NHKギャラリー 「巴里の空の下」モノクロフォト展  
2008年 3月 九州日仏学館 日仏交流150周年「変わらぬ永遠のパリ」  
2008年 5月 アクロス福岡 「巴里の空の下」モノクロフォト展  
2008年 9月 NHKギャラリー 「パステルフォト展」  
2008年 10月 赤煉瓦文化館 誕生百年歳出展「パステルフォト展」  
2008年 11月 福岡国際ホール 「パステルフォト展」  
2009年 2月 赤煉瓦文化館 誕生百年歳出展「モノクロフォト展」  
2010年 4月 福岡天神LOFT 福岡アーティスト展「モノクロフォト展」  
2012年 5月 福岡市美術館 ベトナムスケッチ「黄色の街」ホイアン  
2014年 11月 福岡県美術館 「祈りと微笑み」の地 ラオスアンブラバーン

Homepage <http://photoartplan.com>

Blog <http://myfilter.exblog.jp>

検索 牧瀬 英喜



## 牧瀬 英喜 撮影紀行展

千年都市ハノイ ベトナム

「沿線模様」

会期／ 2019年4月2日(火)～7日(日)

10:00～18:00 (入館は17:30迄)

会場／ 福岡県立美術館 3階4号展示室

福岡市中央区天神5-2-1

Tel: 092-715-3551 (須崎公園内)



① ハノイ駅 (Ga Ha Noi) ② 南北線 最初の踏切 ③ 北方面 最初の踏切 ④ ロンビエン駅 (Ga Long Bien)

⑤ ロンビエン鉄橋 ⑥ ザラム駅 (Ga Gia Lam) ②～③間は、ハノイ駅の長い駅構内になる。

④ ロンビエン駅方面は、③を過ぎると徐々にベトナム鉄道唯一の高架線となり、駅まで約1km程続く。

乗車鉄路 ①<-> (南北線)ニニン、④->⑥、⑥->④-> (乗越し)①  
散策経路 ②南北線、③北方面、④⑤ ロンビエン界隈、⑥ ザラム駅界隈

## 牧瀬 英喜 撮影紀行展

千年都市ハノイ ベトナム

「沿線模様」

会期／2019年4月2日(火)～7日(日)

会場／福岡県立美術館



千年都市ハノイのベトナム鉄道沿線模様  
それは「市井の営みの象徴」沿線脇佇まい  
そして「歴史の生き証人」ロンビエン鉄橋  
そんな地を写真と短文とで綴る撮影紀行



## 「市井の営みの象徴」沿線脇の佇まい

線路沿いの両側に寄り添うかのように続く密な生活空間  
そこへ分け入り見えてきた営みを車窓からも実感すると  
道路がそうである様に線路も共存スペースになっている  
人と列車との肩すれ違う程のスリリングな「距離感」は  
まさしくこの地の「市井の営みの象徴」と言いたい

## 「歴史の生き証人」ロンビエン鉄橋

フランス統治時代、1899年着工、1902年竣工  
この間、激動の歴史の中、度重なる北爆の標的ともなり  
その度に不屈にも修復し生き延びてきて、実に120年  
美しいフォルムのトラス構造の多くは失ってしまったが  
今もなお現役で活躍する、まさに「生きた歴史の証人」

そんな共感が私の琴線に触れ、またまた訪れてしまう地  
ベトナム鉄道を切り口に「撮影紀行」としてまとめてみた  
さて、どう感じとって頂けるのか暫しお付き合い下さい

牧瀬 英喜



COLUMN

### ロンビエン鉄橋 「龍が舞う」

ロンビエン鉄橋：ロンビエン「龍が舞う」の意。エッフェル塔と同じくギュスターヴ・エッフェルの設計という説もある。  
そして、この鉄橋は「横たわるエッフェル塔」とも呼ばれる。

当時2番目に長い1.7kmの鉄道橋はトラス構造で、ハノイを流れる紅河に横たわるエッフェル塔の姿は、あたかも「龍が舞う」絵に映り、世界で最も美しい橋と言われたに違いない。  
しかし幾度もの苦難の歴史を経験し、残念ながら美しいフォルムのトラス構造の多くは失ったが、今も尚現役で列車と多くの2輪車が龍の背を走る。実にこの間120年、まさしくスーパーレジェンドな「龍が舞う」姿と呼びたい。



Hanoi 2018.11.19 Hidaki Makise



## 北方面沿線脇 すり抜ける

ハノイB駅からロンビエン鉄橋に延びる鉄路  
出て間もなくすると徐々に勾配をつけながら  
高架線となっていく鉄橋の高さにたどり着く  
その線路沿い両側には密な生活空間が続く  
そんな中をすり抜けていく北部をめざす列車

## 北方面沿線脇 列車から

今回はここをしっかりと歩いて日々の営みと  
すり抜ける列車の風と走る音を肌で実感した  
さて今度は、列車の中からこの線路脇の営み  
そして、すり抜ける距離感を是非実感したい  
そんな思いで列車に乗り込んだという次第だ



Long Bien Bridge by VNR train  
2017.3.19 15:34

## ロンビエン鉄橋を 列車で

「不屈精神の象徴」ハノイの「ランドマーク」  
激動の時代を走り抜いてきて、実に120年  
さすがに老朽化は否めないが、今もなお現役  
そんな鉄道橋を是非とも列車で走りたい  
紅河を渡る、たった1区間の往復を実行した

## ロンビエン鉄橋を 歩く

ロンビエン駅から紅河を渡る全長約1.7kmの鉄橋  
その内の多くは住宅と広大な河川敷になっている  
そんな鉄道橋はまさしく人が行き交う動脈の様で  
自転車をおして長い急坂を登りやって来る人達や  
河川敷全体に広がる緑は雨に濡れ光り輝いていた





平成31年度 第3回

[2021年まで全5回実施予定]

2019 応募期間

5/1(水)~7/31(水)

表彰・賞

グランプリ……10万円 特別賞(3万円)……1万円  
準グランプリ……3万円 入選……賞状

作品テーマ

「多久の四季・伝統文化・歴史」をテーマに募集します。

応募期間

2019年5月1日(水)~7月31日(水) ※当日消印有効  
※入賞者へは2019年9月末頃までに通知します。  
多久聖廟展示館(佐賀県・多久市)で入賞作品展を開催します。

応募・お問合せ  
作品送付先

公益財団法人孔子の里「多久百景写真コンテスト」係  
佐賀県多久市多久町1843-3 ☎0952-75-5112

■主催 公益財団法人 孔子の里

## 「PHOTO GUIDEふくおか」創刊28年目の想い

福岡市を中心に、北九州、熊本、長崎は写真の歴史もあって、写真クラブ、教室の数も多く、プロ・アマの写真家の活動が活発な地域です。「PHOTO GUIDEふくおか」は「いい写真展が見たい」「写真展を見に来てほしい」「発表の場がないだろうか」など、地域特性の潜在的ニーズに対応すべく、1991年4月に誕生、2019年の3・4月号(vol.168)で創刊28年を迎えた写真情報紙です。フィルム写真のアナログ時代から、デジタルへの急速な変化はそのまま写真愛好家を増加させ、写真展ではデジタルによる作品も多く見かけます。反面従来のモノクロ写真を追求する人達も増えてきました。写真を撮ること、見ること、見せることを楽しむ人、多くの写真関係の皆様にとって、この小冊子がお役立てることを願っています。

2019年2月末日

福岡空港フォトコンテスト2019 入賞作品を含め約200点を展示。

■開催中~3月19日(火)6:00~21:40(最終日は13:00まで)

■福岡空港国際線ターミナル 4階ロビー [入場無料]

福岡市博多区大字下臼井782-1 福岡空港ターミナルビル ☎092-623-0611

※作品の展示期間・場所は予告なく変更になる場合がございます。

### 第11回「写団こが」写真展

特別コーナー設置。全会員の各公募展の入選、入賞作品の展示。

■3月14日(木)~21日(木・祝) 10:00~17:00[3月18日(月)休]

■リバースプラザがギャラリー 古賀市中央2丁目13-1 ☎092-944-1931



### ●牧瀬英喜「ハノイ『沿線模様』ロンビエン鉄橋」

■発行/ノヴス フォトガイド

〒810-0041福岡市中央区大名2-3-3-302

☎092-761-1616 ☎092-761-1770

novus@watch.ocn.ne.jp

□デザイン……………宮本哲子

□編集・発行人……………井上純子

□編集アシスト……………久間直子

□印刷……………株式会社伸和

※次号(Vol.169)2019年5・6月号掲載の  
原稿締切は2019年3月25日(月)です。

※ご参照パンフ 写真展情報誌「PHOTO GUIDE」より抜粋

## Wide Angle

- 福岡県立美術館  
福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内)  
☎092-715-3551  
開館時間/10時~18時(入場は17時30分迄)  
休館日/月曜日祝日の場合はその翌平日
- 第50回九州産業大学造形短期大学卒業制作展  
3月5日(火)~10日(日)「1・3階展示室」  
卒業研究の成果として2年間の集大成となる  
絵画・彫刻・映像・写真など約300点を展示。
- 第103回二科展(二科福岡巡回展)  
3月19日(火)~24日(日)「1・3階展示室」  
絵画・デザイン・彫刻・写真の4部門で、全国巡回の選抜作品と地元入選作を合計約330点を展示。  
料金/一般800円 高大生500円  
中学生以下無料
- 牧瀬英喜撮影紀行展  
「千年都市ハノイ  
ベトナム沿線模様」  
4月2日(火)~7日(日)「3階展示室」  
ベトナム鉄道沿線の撮影紀行を約70点の写真と短文で綴る。
- 専門学校九州ビジュアルアーツ写真学科  
進級制作展2019  
4月2日(火)~7日(日)「1階展示室」  
写真学科2年生21名による進級写真展、大きな  
展示方法にも工夫した約400点を展示。

- 世界30ヶ国と日本  
4月16日(火)~21日(日)「1階展示室」  
中川三四郎と松田博文による絵画・写真展。  
約70点を展示。
- 日本リアリズム写真集団  
第11回大牟田支部写真展  
4月23日(火)~28日(日)「1階展示室」  
大牟田支部の1年間の活動の成果を発表。  
A3/1作品約80点を展示。  
※別枠の広告もご覧ください
- 福岡アジア美術館  
福岡市博多区下川端町3-1  
リパレンセンタービル7・8階  
☎092(263)1100  
開館時間/10時~20時(入場は19時30分迄)  
休館日/水曜日 <http://fzamu.city.fukuoka.lg.jp>
- 8F「交流ギャラリー」  
●専門学校九州ビジュアルアーツ  
写真学科  
PHOTO EXHIBITION  
2019  
2月28日(木)~3月5日(火)  
鶴崎政治写真展  
「Silhouette City  
シロエタ・シティ」  
3月21日(木・祝)~26日(火)  
※別枠の広告もご覧ください

- 2Fメッセ・ジョワイエ  
写真展「アジアの結婚式」  
Asian Wedding  
3月11日(日)~17日(日)  
「この変な結婚式は品変わるアジア」をテーマに、結婚式の様子を撮影した作品約40点を展示。  
「FUKUOKA ST. MODEL NAMU」  
●古賀の魅力再発見  
コンテスト2018  
受賞作品展  
4月15日(日)~21日(日)  
古賀市の魅力が詰まった絵画や写真の中から受賞作品約21点を展示。
- 水土里のふるさと写真コンテスト  
入賞作品展  
4月29日(月・祝)  
5月10日(火・祝)  
豊かな自然、ゆとり、やすらぎ、おいしく、福岡の農業と農村の魅力を表現した作品約30点を展示。

- アートエリア a2+para  
福岡市中央区今泉2-4-39 拓栄ビル2F  
☎090(258)74076  
開館時間/12時~19時(最終日は18時迄)  
期間中の休店日・水曜日
- 溝口富士男写真展  
「Day & Night」  
3月26日(土)~10日(日)  
※3・6水店休 初日15時から最終日18時まで
- なまむらみつき写真展  
「THE FOUR SEASONS」  
3月23日(土)~31日(日)  
※3・27水店休  
最終日18時まで
- 龍写真展「Day & Night」  
Fukuoka st. Model Namu」  
4月6日(金)~14日(日)  
※4・10水店休  
初日15時から最終日18時まで
- 海凜房  
福岡市西区今津8-1-3  
☎092(40)10237  
開館時間/月・水・金12時~18時  
(土日祝7時~18時7時からモーニング  
火曜日定休 ※臨時休業あり)  
※株主オーナーラボプリント取次店/写真展、  
写真の販売を希望の方へご連絡ください
- 海凜房「FUKUOKA ST. Model. to blue sky」  
2月25日(日)~4月28日(日)  
空の青さが目を惹く写真10数点を展示。

FUKUOKA PHOTO SCENE PAPER

# PHOTO 2019 GUIDE 3 march 4 april



フォトガイドふくおか vol.168